

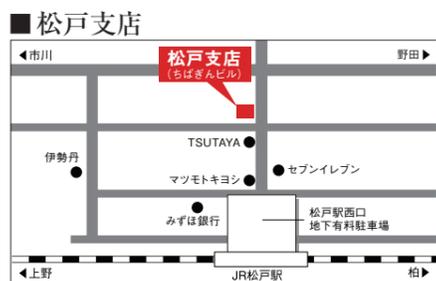
■本店
 〒260-8501 千葉県千葉市中央区中央4-17-8
 千葉県自治会館内 TEL.043-221-8181
<http://www.chiba-cgc.or.jp>

■松戸市店
 〒271-0091 千葉県松戸市本町7-10
 ちばぎん松戸ビル 4F TEL.047-365-6010



HPへ LINEへ

千葉県経済に貢献しているオンリーワンの存在です。



地元の中小企業とともに歩む、信用保証のプロフェッショナル集団。

千葉県信用保証協会の普遍的目標をあらわす3つの基本

基本理念

千葉県信用保証協会の普遍的理念を、使命や存在意義を示すミッションステートメント(使命の記述書)としてまとめました。

職員は、この基本理念を常に行動規範として念頭において業務を行い、お客様には、当協会に対する理解を深めていただくことを目的にトータルイメージとして策定したものです。

私たちは
創造性豊かな中小企業のよきパートナーとして
多様で活力ある成長と繁栄を
サポートします。
～千葉県信用保証協会～

基本姿勢

基本理念を追求するために、「トータルイメージの理念」から、将来にわたってあるべき姿を簡潔に示しました。

1. 親切・迅速・公正な姿勢で、信頼される協会
2. 自主・独立の気概にあふれ、先見性のある協会
3. 明るく・楽しく・元気があり、活気に満ちた協会
4. 価値ある情報を発信し、喜ばれる協会
5. 経営基盤の安定をもとに、地域経済の発展に貢献する協会

行動指針

基本理念、基本姿勢を実現するために、職員が常日頃意識する心構えを具体的に示しました。

1. 常に親切な対応を心掛け、お客様の立場になって行動します。
2. 常に前向きで、自己啓発に努め資質の向上を目指します。
3. 前例にとらわれることなく、創意工夫に努めます。
4. 規律を守り、協会職員としての誇りと自覚を胸に責任ある行動をします。
5. 明るく健康的で、コミュニケーションあふれる職場を目指します。

数字で見る千葉県信用保証協会

多種多様な業種の企業を応援しています。

当協会を利用している県内の中小企業は、42,422企業(平成28年3月31日現在)。千葉県にある企業のおよそ3分の1が当協会を利用しており、事業の継続や雇用の安定に大きな役割を果たしています。

42,422 企業

中小企業と金融機関の「かけ橋」として、活躍しています。

当協会には年間約4万3,000件の保証申込があり、5,000億円を超える金額の保証承諾を行っています。平成28年3月31日現在で保証債務残高は1兆841億円となっており、中小企業の円滑な資金調達と事業の成長発展に欠かせない存在であることがわかります。

1兆841 億円

これからも千葉県経済に貢献し続けます。

当協会が設立されたのは、戦後の経済復興とともに多くの企業が誕生した1949年。以来、70年近くに渡り、千葉県の中小企業を支えています。

1949 年

国内企業における中小企業の割合

中小企業は全国に約381万社あり、経済活動の中心として重要な役割を担っている存在です。そのため中小企業の支援については政府も力を入れており、保証協会が活躍する場が広がっています。

99.7%

当協会の各部門が専門性を発揮し、 中小企業の成長と発展をサポートします。

中小企業のライフステージのあらゆるシーンで、千葉県信用保証協会は経営者に寄り添います。

千葉県信用保証協会は「信用保証協会法」という法律に基づき中小企業の金融の円滑化を目的として設立された公的機関です。

全国には51の信用保証協会があり、それぞれが地域に密着した活動を展開しています。私たち千葉県信用保証協会の事業基盤である千葉県は、成田国際空港、東京湾アクアラインなどを核にした、首都圏の経済・産業の軸を担う重要エリアであり、より一層の成長が望まれる極めて可能性に満ちた地域です。そのような背景を踏まえ、近年における当協会の保証債務残高は全国上位に位置するまでになり、千葉県経済の成長と発展に貢献すべく、日々活動しています。

保証部門

企業の中に埋もれている信用力を多角的に発掘し、保証の可否の判断につなげます。

お客様である中小企業は、金融機関を通じて当協会に保証申込をします。その保証申込の審査を担当するのが当協会の中核業務である保証部門です。財務諸表の分析などの書面審査だけではなく、実地調査により企業の現状と将来性を見極め、資金の必要性と返済の見通しを判断しながら保証の可否を決定します。

企業サポート部門

創業・経営・再生の3つのチームで、
様々な課題を抱える企業をサポートします。

「創業サポートチーム」は、これから事業を始める企業者および創業して間もない企業の保証審査を担当しています。また保証審査だけではなく、窓口相談や関係商工団体と連携した相談会の設置、創業セミナーの開催などを通じ、中小企業者の創業に関する要望に積極的に応えます。

「経営サポートチーム」は、保証債務残高の多い大口顧客や経営改善等が必要な企業に対して、専任担当者が定期的なモニタリングを実施し企業が抱える様々な課題に対して支援策を検討します。支援の中では中小企業者から申出があれば、金融機関と企業者の調整の場として「経営サポート会議」を開催し事務局を務めることもあります。

「再生サポートチーム」は、経営状況の厳しさから苦境に立つ中小企業者に対して、経営改善計画の策定支援や各種再生スキームの実施を担当しています。再生スキームを進めるにあたっては金融機関や中小企業再生支援協議会などの外部の関係機関との連携だけでなく、保証協会内の関連部署とも連携して進めていくこともあります。

債権管理部門

中小企業のための公的機関として、
双方にとってメリットのある解決策を探ります。

事故報告の受付から代位弁済、代位弁済後における求償権の回収を担当しているのが、債権管理部門です。事故報告とは毎月の返済が遅延したなどの中小企業者について、金融機関が協会に報告するものであり、保証協会は報告を受けた企業について経営状況を見極めつつ、代位弁済の可否を判断します。

債権回収については公的機関として中小企業を支援する立場にあることから、求償債務返済の問題解決をともに図る姿勢で臨んでいます。

中小企業者と当協会の双方にとってメリットがある解決策と返済方法を、時には弁護士を交えながら検討、相談します。



Stage 1-1 創業支援

窓口相談や創業スクールなどにより創業までの道筋を示し、起業後についても不安を少しでも和らげられるよう起業への後押しを行います。

Stage 1-2 モニタリング

創業計画の進捗度合を確認し、専門家等を通じた経営相談の機会を提供します。必要に応じて追加支援などを提案します。



Stage 2-1 保証審査

事業が軌道に乗った後は、各企業の成長度合いに合わせて様々な資金需要が発生します。必要な資金を必要な時に調達できるよう、迅速な審査で対応します。時には社長と面談し、事業への熱意などを確認した上で審査方針を決めていくこともあります。

Stage 2-2 セーフティネット

大規模な経済危機や自然災害などにより、企業者が危機的状況に陥ってしまった場合は政府が発動するセーフティネットにより中小企業者の「最後の砦」としての役割を果たします。

Stage 3-1 経営支援

企業が発展していくためには、様々な経営課題をクリアしていかなければなりません。信用保証協会はその経営課題の解決に向けて、豊富な支援メニューで応えます。



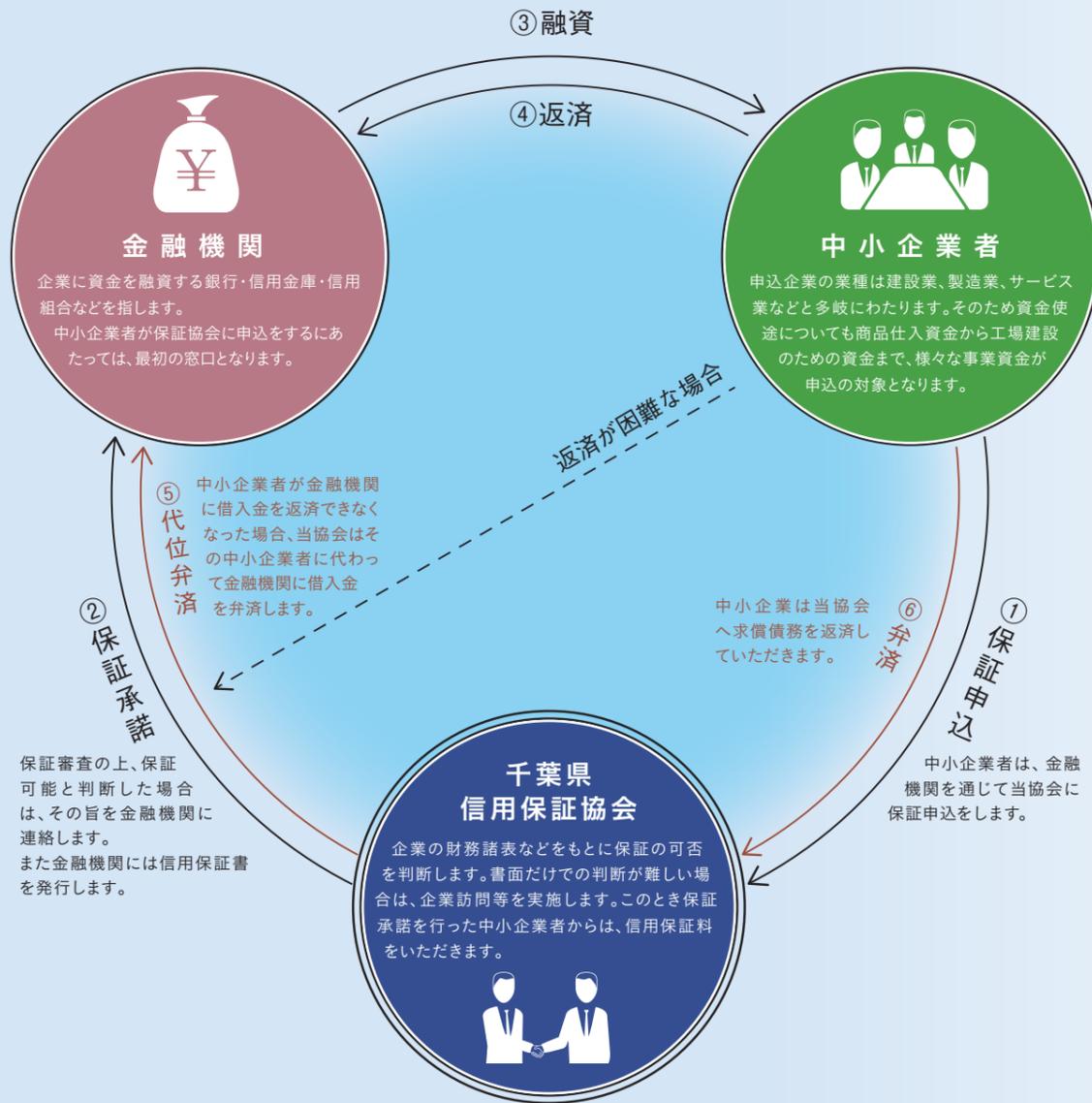
Stage 3-2 再生支援

素晴らしい技術や製品を有していたとしても、外部環境の大幅な変化により厳しい環境に陥ってしまう企業は必ず存在します。そのような企業がもう一度市場で競争力を発揮できるように、信用保証協会が最大限バックアップします。



公平中立的な立場で「信用保証」ができるのは保証協会だけ。 地域金融に欠かせないオンリーワンの存在です。

中小企業が金融機関から融資を受ける際に、欠かせない役割を果たすのが信用保証協会。
中小企業者の成長と発展を縁の下で支え、金融機関と中小企業を結びつける「かけ橋」としての役割を担っています。



金融機関と中小企業者の間で、金融の円滑化を図ります。

大企業ほど経営基盤が安定していない中小企業の中には、財務内容や担保の面で信用力に限界があり、資金調達を計画してもスムーズに融資が受けられないことがあります。

しかしそれでは、事業の経営に真面目に努力し、多彩な可能性を秘めている中小企業の成長を妨げてしまいます。そうした中小企業の資金繰りの悩みを解決

すべく、中小企業が金融機関から事業資金を調達する際に、私たち千葉県信用保証協会が「公的な保証人」となり、迅速かつスムーズに資金調達できるように支援しています。

先輩や上司に見守られながら、一から保証審査業務を習得。

現在、私は本店で審査担当を務め、通常期で1日あたり4~5企業、繁忙期には9~10企業を審査し、稟議書を作成するのが日常の業務です。
審査では企業の財務諸表などの資料に目を通し、保証の可否を決定します。もちろん新人には簡単な案件から任されるのですが、当初は書類のどこを見ればよいのかよくわからず、一つひとつOJTリーダーや先輩の方々に聞きながら進めていきました。入協後1か月経過したころには、少し勘どころがつかめるようになり、半年たった今は少しずつ難しい案件も任されるようになりました。



私のOJTリーダーは入協7年目。私がひと言質問しただけでも、「この業界はこういう面があるから、ここを確認して」と詳細で具体的な指示が返ってきます。何をしてもバックグラウンドや理由まで丁寧に説明してもらえるので、しっかりと理解を深めて、次のステップに進めていると感じています。
またOJTリーダーはもちろんのことながら、

上司や他の先輩方にもなにかあればすぐに相談することができ、「周囲の方々に見守られている」という安心感があります。
業務のなかでは経営者の方や金融機関の方からお礼を言われることもあり、「お客様の事業に貢献できているのかな」と感じ、励みにしています。
先日、あるお客様の案件で決算書の内容に疑問を抱き、金融機関の担当者に確認をとりながら過去数年分を遡って調べた案件がありました。最終的に「問題なし」と判明したため、稟議を回したところ、上司から「よく調べたな」と褒めていただきました。これからもどんどん経験を積んで知識を増やし、いずれは先輩のように頼られる存在になりたいです。

保証部門 Guarantee department

財務諸表分析などを通して 中小企業の保証審査に従事



いつか先輩のように頼られる存在になりたい。

本店 保証第二部 保証課
尾崎 孝一
2016年入社

Kohichi OZAKI
経済学部在学中に簿記の授業を履修したが、簿記3級の資格を取得したのは入協が決定してから。就活をはじめた頃は千葉県内の金融機関を目指していたが合同説明会で保証協会を知り、「雰囲気自分が合う」と就職を決めた。

■1日のスケジュール

出社後、準備	8:45	12:00	13:00	15:00	17:00	18:00
課長からその日の審査案件が配布されるので、まずはその確認から。	業務開始。1件ずつ審査を進め、気になる点は金融機関へ電話で確認。	本店6階の休憩室で昼食。タイミングが合えば、先輩と外食に出かけることも。	午後の業務がスタート。午前中から引き続き、審査書類に目を通します。	金融機関に依頼をしていた書類が到着。中身を確認し、稟議の作成へと進めます。	退社。時には先輩方と職場の近くで飲みに行くこともあります。	帰宅後は音楽を聴くなどリラックスをして過ごし、気分転換をしています。

「創業の専門家」として、 経営者の方々を支える毎日



懸命に頑張る創業者の力になりたい。



本店 企業サポート室
創業サポートチーム
川島 哲弥
2011年入社

Tetsuya KAWASHIMA
中学・高校ではサッカー部に所属。当協会でもサッカー部に所属しており、月2回の練習で体を動かすことが、いいストレス解消になっている。
目標は毎年開催している保証協会同士の対抗戦。他の都道府県の保証協会の方々と交流できる、またとない機会でもある。

「おかげさまで順調です」 経営者の言葉がやりに。

創業には実にさまざまな手続きが必要です。ところが、創業を考えられている方の中にはその手続きを進める方法を知らない方も多くいらっしゃいます。
創業サポート部門はおもにこれから創業する企業や創業1年以内の企業を対象とした保証、申込の審査を担当します。具体的には書類審査の後、創業者の方と面談し、



保証の可否を決定します。保証した企業には、2期目の決算報告まで専任担当としてモニタリングを実施。モニタリングの際には事業の状況や創業計画の進捗状況を確認し、経営課題があればともに考え、解決策を検討します。中小企業診断士などの外部専門家を交えて経営相談を行うとより効果的なフォローアップができ、課題解決に繋がることも少なくありません。
他には年に数回、創業セミナーやスクールの開催を企画しています。時には受講者の方の資金調達のために金融機関と同行することもありますし、外部の専門家を交えて創業計画書を何度も作り直すこともあります。
経営者とは孤独な存在です。自分の家族だけでなく従業員の家族の生活も肩に背負い、日々プレッシャーを感じながら休みなく組織を運営しています。私の仕事はそんな創業間もない経営者の方のお役に立つこ

と。経営者の方々からは「創業の専門家」という目で見られますし、担当者としての裁量が大きいところもあるので責任を感じます。ただ通常ではお会いできないような経営者の方々から直接お話を伺えますし、「おかげさまで順調です」という言葉をいただく大きなやりがいを感じます。また経営者の方々だけではなく、金融機関の担当者からも感謝されることが多く、生まれ育った千葉県の発展に微力ながら寄与できていると実感できる仕事だと思います。
今後も更に経験を積み、さまざまな業種の特長・傾向をつかんでよりよいサポートができるように努めていきたいと思えます。
また財務・法務・税務など勉強しなければならない分野が多い業務なので、毎年何かしらの資格取得を心がけていました。
いずれは中小企業診断士の資格を取得したいと考えています。

■ 1日のスケジュール

出社後、準備	8:45	9:00	10:30	12:00	13:30	17:00
出社したらまずPCを立ち上げ、1日のスケジュールを確認。	業務開始。朝礼の後、その日に訪問する担当企業の書類などを準備。	担当企業を訪問するために出社。社有車で出かけることが多いです。	経営者と面談。審査に必要なとなる事項の確認や計画書のチェックなどを行います。	昼食。外出先でとることが多いため、ほとんど毎日外食です。	帰社。午前中に訪問した企業の報告書を作成。	退社。帰社後はランニングをしたり、資格取得のための勉強をしたりと時間を有効活用しています。

仕事内容に男女差がなく、 女性が活躍できる職場です。

当協会では保証部門で保証審査を行った後も、中小企業を支えるため継続して企業を訪問し、外部の専門家のアドバイスを提供などの経営支援を行っています。千葉県内にはリーマンショックや東日本大震災で打撃を受けた企業が多く、悩みを抱える経営者の方々が少なくありません。そこで私たちは中小企業診断士とともに悩みを抱える企業を訪問し、経営者の方々と相談しながら経営課題を解決するための改善計画を策定。その後定期的にモニタリングを行い、課題解決が順調に進んでいるかを確認しています。
ちなみに中小企業診断士の派遣費用は協会が負担するため、企業側の経済的負担はありません。こうしたサービスは信用保証協



会が一番力を入れている事業でもあり、お客様からのお礼の言葉がなによりうれしく感じます。
保証協会は県内の3分の1の中小企業者の方々に利用していただいておりますが、私が訪問できている企業はその中のごく一部。それでも「保証協会の人と顔を合わせて話ができよかった」とおっしゃっていただけることも多く、親しみを持っていただけるよう努めています。経営者の方々は自分なりのこだわりを持って事業に打ち込んでおら

れるため、そんな熱い思いをもつ企業をサポートできるのは私自身にとって大きな喜びです。ただ配属当初は経営者の方々が私の親よりも年上である50代、60代の方が大半であったため、私の知識不足から面談がスムーズに進まないこともありました。そこで先輩の面談に同行させていただき、先輩のスキルを参考に自分なりの面談のイメージを膨らますことで最近では徐々に上手にできるようになってきたかなと感じています。
ほかにも大口顧客管理も担当しており、千葉県内の著名企業や老舗企業を訪問することもあります。私は入社して4年目から大口顧客管理を一人で任されており、若手に任せられる裁量の大きさにやりがいを感じます。
これからは担当している企業の経営者の方々に頼られる存在になれるよう、たくさん経験を積んでいきたいと考えています。



保証協会ならではのサポートで 県内の中小企業をもっと元気に！

本店 企業サポート室
経営サポートチーム
海野 瞳
2013年入社

Hitomi UNNO
経営学部で財務会計や経営戦略を学び、簿記3級も取得。「就職したらバリバリ働きたい!」という想いを抱いて就活し、当協会を選んだ。大学での学びを生かした仕事に携わることができる充実感と、育休・時短制度が整った福利厚生面にも大きな安心感がある。



若手でも裁量の大きな仕事を担当することができます。

■ 1日のスケジュール

出社後、準備	8:45	9:00	12:00	13:00	16:00	17:30
出社。PCを立ち上げ、自分と同僚のその日のスケジュールをチェック。	経営者へのアポ入れ、訪問時の資料の準備などを外出前に行います。	社有車で外出。担当企業の経営者と面談、外部専門家との打ち合わせなど内容はさまざま。	外出先で昼食。場所も時間も日によりバラバラなので、外食となることが多いです。	午後から訪問約束をしている先へ移動。日によっては2か所以上の企業を訪問することも。	帰社。出張の内容を上司に報告。担当企業から問い合わせがあった件などを協議します。	退社。残業はあまりありません。通勤時間も地元なのでわずか30分です。

教育・研修制度 Education and training system

新入職員を「プロフェッショナル」に育て上げる教育環境。



OJT 制度と体系化された研修制度の両輪で大きく成長

保証審査に必要な財務の知識や業種特性などは、専門用語も多く短期間で身に付くものではありません。様々な申込の審査を経験する中で、知識を少しずつ積み上げていく必要があります。

OJT制度はそんな新入職員の成長を支えるための仕組みです。

また中小企業を支援するための知識は、金融分野の知識だけでは十分ではありません。経

済、法律、社会情勢、国際情勢など、そのどれをとっても私たちの仕事に大きく関連しています。

当協会ではそうした業務に必要な知識が着実に習得できる教育体系として、階層別研修と課題別研修といった研修体系を整えています。



■教育システム



■信用調査検定

全国信用保証協会連合会が主催する信用調査検定を多くの職員が受検。財務分析の知識はもちろん、企業支援やカウンセリングスキルなども習得します。

初級（ベイス）

- ・財務諸表の基礎
- ・基本的な財務分析の知識
- ・中小企業をめぐる動向や課題

中級（アドバンス）

- ・財務諸表の見方
- ・応用的な財務分析の知識
- ・中小企業をめぐる動向や課題

上級（マスター）

- ・企業力の評価と企業支援に関する知識
- ・経済・時事情勢、会計情報等の知識
- ・カウンセリングスキル、プレゼンテーションスキル等

スキルアップのための支援策

■新入職員の教育研修

新入職員には入協前から研修を実施し、更に1年間、先輩職員からマンツーマンで実務指導を受けるOJT制度を採用しています。

■課題別研修

審査、回収、法律、経営指導、顧客対応などの各専門知識とスキルの習得を図ります。アジアやヨーロッパなどの海外金融情勢を学ぶ海外視察研修もあります。

■中小企業診断士の資格取得を奨励

中小企業診断士の資格取得を奨励しており、第一次試験の受験準備の費用を当協会が負担する制度があります。また、第一次試験を突破した合格者を、当協会の費用負担により中小企業大学校に派遣しており、養成課程を修了すれば中小企業診断士の資格が取得できます。



■階層別研修

新入職員、係長、課長補佐、課長、部長と各キャリアで必要とされる知識とスキルの習得を図ります。

■通信教育と各種資格の取得

通信教育は、100種類以上のメニューの中から自分が興味のあるものを選択して学べます。また、宅地建物取引士、社会保険労務士、ファイナンシャルプランナーといった資格取得も推奨しており、当協会の負担や補助を受けて学ぶことができます。



CSR活動 Corporate Social Responsibility

事業基盤である千葉県に貢献できる活動を行っています。



「地域イベントへの参加」と「環境美化活動」の二つを実施

当協会では地域イベントへの参加として、「ちばアクアラインマラソン」への出走および沿道整理等のボランティアに参加しています。また環境美化活動としては、月に一度本店周辺の清掃活動（愛称：クリーンウォーク）や、年に一度県内の海岸や公園などの清掃活動（愛称：エコイベント）を実施しています。



ワークライフバランス Work-life balance

働きやすい職場で、男女とも差なく活躍できます。



子育てサポート企業として、仕事と育児の両立を支援

職員が意欲的に心身ともに充実した状態で効率よく業務を遂行していくために、当協会ではワークライフバランスの充実に力をいれています。

特に力をいれているのは子育て支援の部分であり、2013年と2015年に子育てサポート企業として認定を受けており、「くるみん」を

取得しています。ノー残業デー、ノー残業ウィークの実施、記念日休暇などによる有給休暇取得の促進、育児休業休暇制度、育児短時間勤務制度などの拡充により仕事と育児の両立を支援しています。

福利厚生 Welfare Program

手厚い福利厚生のもとで、安心して仕事に取り組めます。



クラブ活動が盛んでアットホームな社風

当協会ではオフタイムの充実も最大限に応援しており、各種社会保険、住宅・厚生資金融資、財形貯蓄制度、医療費補助、職員が自由にメニューを選択できるカフェテリアプランなど職員一人ひとりが豊かで安心して生活できる環境を整備しています。

また各種クラブ活動として野球部・サッカー部・ゴルフ部が活動しており、週末に集まって練習や試合を行っています。他県の信用保証協会との合同練習や大会等も行っており、スポーツ交流を通じて親睦を図っています。

